

医療分野における 図書館パスファインダーの可能性を探る

小嶋 智美¹⁾ 市川 美智子²⁾

1)愛知淑徳大学図書館 2)愛知医科大学医学情報センター（図書館）

<目的>

『図書館パスファインダー（以下パスファインダー）』は情報探索の初心者を対象に、特定のトピックの情報探索過程をサポートしながら図書館員の選りすぐりの情報資源を紹介する、主題検索ツールのひとつです。利用者にはもちろん実務者にも様々なメリットがあります。今回の発表を通じ、パスファインダーが日本の図書館でも一般的なサービスのひとつとして根付き、主題を軸にしたサービスを発展させる契機になればと考えました。そこで、自館での作成経験を元に、作成のための基礎知識や利用者・実務者の声、医療分野のパスファインダーを作成する上で参考になるような国内外のパスファインダーの実例などを紹介します。

<展示内容>

1. 愛知淑徳大学図書館・愛知医科大学医学情報センターで提供中のパスファインダーを例に、作成の基本的な要素を紹介すると共に、利用対象者である院生や学部生、担当教員から集めた意見を紹介することで、作成するメリットや、現状の課題などをあらためて提示します。
2. すでにパスファインダーを作成している、あるいはまだ作成していない図書館員の作成に対する率直な意見を紹介し、問題点に関してはどうかクリアすればいいのかを、これまでの作成経験や参考文献等を元に提示します。
3. 海外ではすでに一般的な図書館ツールとして運用されているパスファインダーの中から、医学分野をトピックに設定しているものをいくつか挙げ、特徴などを解説します。

<そのほか>

今回のポスター作成にあたって利用したパスファインダーの実例を、ポスター下部と会場内オープン利用端末（ブックマーク）でも紹介する予定ですのでご活用ください。

【図書館パスファインダーの特徴とメリットの一例】

特徴	利用者のメリット	図書館のメリット
特定のトピックに関する基本情報をコンパクトに提供	必要な事柄だけを合理的に収集できる	利用者のニーズに合わせて効率的に情報資源を提供できる・主題知識が深まり作成以外の業務にも役立てることができる
情報探索の起点	それぞれの情報探索能力や探索過程にあわせて活用できる・関連トピックへの応用	利用教育において、情報探索法などの指導を円滑に進めることができる

主要参考文献：『パスファインダー・LCSH・メタデータの理解と実践：図書館員のための主題ツール作成ガイド』愛知淑徳大学図書館インターネット情報資源担当（編著）．紀伊国屋書店（発売）
http://www2.aasa.ac.jp/org/lib/j/issues_j/plam/plam_j.html